

# うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」やNPO団体などを紹介します。  
 問 政策推進課 ☎82・3910/IP☎88・9094

## 1 菟田野魅力発見 体験ツアー

菟田野まち協

10月7日(土)、7回目の「稲刈り&収穫体験」を開催しました。今年は、県内外から12組35人、ほとんどの方が初参加でした。まず、畑でさつまいも掘り。さつまいもは、みんなでなんと約200kgの収穫。大きいサイズでは、お子さんの顔と同じ位のものもありました。「お芋大好き」の声があちこちから聞こえてきました。



▲鎌での稲刈り、初めて～!

続いて、米づくりについての説明を聞いたあと、鎌を持って稲刈りの体験です。ほとんどの方が初めてで、夢中になり、最初は「難しい!」と言っていたものの慣れてくると、どんどん稲刈りが進んでいきました。刈った稲を束ね、はざ掛けも体験しました。また、文明の利器を使つての稲刈りの体験では機械のありがたさを実感されていました。



▲機械で刈ると早い!

## 2 西谷まち協 フェスティバル2023

西谷まち協

10月8日(日)、室生西谷地区で住民のための地域交流イベントを開催しました。この事業は、毎年行われていた「夏祭り」のかわりに立ち上げたイベントで、「夏祭りもいいけど、もっとみんなが集まって楽しめる事業をしたい」との意見があり、



▲ゲーム感覚で測定

内容盛りだくさんの企画を考案しました。屋内では防犯講習の後、交通安全教材を用いて俊感性や機敏性をゲーム感覚で測定したり、対面では保健師による血圧測定や健康相談が行われました。後半には笛の音とシンセサイザーのメロディーに合わせた語りと舞いが披露され、屋外では市内でも活躍するバンドによる生演奏や、的当て・ダー



▲素敵な舞いもありました

## 3 子どもたちとの交流会

三本松まち協

室生三本松中村地区にあるお寺「安産寺」通称「子安さん」で、地元のごども園に通う子どもたちと地区住民による「ふれあい交流



▲願いが叶いますように

会」と称した「七夕会」を7月7日(金)に開催しました。当日、カラフルに装飾された手づくりの紙皿プレートを子どもたちより頂き、仏様の近くに飾り、祝いが始まりました。最初は、元保育所の先生による紙芝居です。三本松に流れていた子安地藏菩薩像のお話で、子どもたちも熱心に聞き入っていました。続いて、みんなで短冊に願いを書いて、住民の方や先生が笹へ取り付けました。そのあと、子どもたちの歌と踊りを見ながら「地域に子どもが居たら活気づくし、元気もらえるなあ」と楽しい時間を



▲近くを通る電車

を過ごしました。近くを走る近鉄電車に子どもたちは目を輝かせながら手を振り、楽しい時間を過ごしていたようです。三本松地区も子どもが少なくなり、活気も減少気味でしたが子どもたちとの交流会を開催できたことで、地域の活性化につながることができました。

## カワラケツメイ

海岸や川岸の砂が堆積している所で、ネムノキの葉を小さくしたような、2〜3センチの葉をつけた植物が見られます。これがカワラケツメイです。日陰では育たないので、日当たりには注意してください。一般的には8〜9月ごろの、花の咲き始めからさやが黒く変化するまでの間に、全草を採集して乾燥させます。ただ、その時期に採集すると種切れになってしまうた

め、10月ごろに採集することをお勧めします。そうすれば盛んに種子を飛ばしてくれます。1〜2センチ程度の長さに切り、乾燥させて茶の代用にすれば、消化器系を正常にする働きがあり、消化器系が弱い人は元気を出すことが出来ます。効果は大きく、強壮、利尿、健胃、整腸、消炎の各作用が働き、浮腫や腹水が改善し、さらに腎臓病、妊娠腎、尿路結石を治します。



※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP☎88・9075